

日

## 研究協力をお願い

静岡県立こころの医療センターでは、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 成人神経発達症の包括的評価、及び各障害間の相互関係に関する検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

今回研究に参加していただくのは読字障害のある患者さんで、参加していただける条件と参加していただけない条件は、次のとおりです。これらの条件は研究を安全に行い、得られた結果を正しく評価するために設けられています。研究の参加に同意していただいても、参加していただけない場合がありますのでご了承ください。

##### <参加していただける条件>

- (1) 右利き、年齢が18歳以上、50歳以下であること
- (2) 併存障害の有無、内服の有無は問わない
- (3) 全IQが80以上の方
- (4) 本研究への参加について十分な理解の上、本人の自由意思により同意する能力のある方

##### <参加していただけない条件>

- (1) 明確な視機能・聴覚・四肢運動の障害を認める者
- (2) 心理検査の施行が困難な方
- (3) 甲状腺機能、下垂体機能の異常が指摘され、かつ未治療の方

全体の研究期間は、実施許可日（2025年XX月）から2029年3月31日までです。

#### 2. 研究目的・方法

神経発達症には、自閉スペクトラム症（ASD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）に加え、読字・書字・計算などの能力が障害される限局性学習障害（SLD）や、手先の器用さ・平衡感覚・粗大運動機能が遅れる発達性協調運動障害（DCD）などがあります。各障害は併存が多く、特にASDやADHDとDCDの併存は50-90%と報告されています。しかし、成人になっても、DCDやSLD症状の多くは持ち越され、学業や職務に影響します。特に、ASD/ADHDの併存例では重篤な障壁になりやすいと考えられています。従って、学童期と同様のアセスメントや支援が必要となります。しかしながら、ASD/ADHDに比べ、SLD/DCDに対する社会的認知は極めて乏しいのが現状です。成人対象の評価系も確立しておらず、ASD/ADHDにSLD/DCDが併存した症例でさえ、前者に関心が集中する一方、後者はほぼ看

過されて詳細な検討が存在しません。これら併存する神経発達症全ての包括的なアセスメント、及び簡便な検出法の開発は、各障害間の関連性を理解し、成人当事者の社会適応を支援する上で、必要不可欠かつ喫緊の課題です。

そこで、本研究提案では、以下の6課題について明らかにすることを目指します；

- ① ADHD各亜型と、DCD各亜型間の関連性の解明
- ② ASD/ADHDの検査指標と、SLD/DCDの検査指標間の相関関係の解明
- ③ 成人SLD/DCDの併存を予想するASD/ADHDの検査指標の同定(=簡易スクリーニング法の開発)
- ④ 成人SLD/DCDにおける要支援ポイントの抽出
- ⑤ 成人SLD/DCDにおける代償性の機能向上ポイント(=「発達特性の凸凹」の凸の部分)の同定
- ⑥ ADHD薬物療法の成人SLD/DCDに対する効果判定

この研究が成功すれば、社会全体にSLDやDCDが成人にも少なくないこと、この問題を抱えている当事者がいかに職場や学校で困っているかを科学的に知らしめることができます。さらに、SLDやDCDの簡便な発見法の開発に成功する可能性があります。さらに、ADHDの治療薬がDCDに効果があるか否かを、確認する手掛かりが得られます。

### 3. 研究期間

静岡県立こころの医療センター臨床研究倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年3月31日までです。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 被験者背景(検査時年齢、性別、利き手、家族歴、既往歴、学歴、併存疾患、内服薬)
- ② 生化学検査のデータ
- ③ 各心理・認知・運動系検査項目の指標

### 5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は当院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレターパックプラス(赤)を用いて、共同研究機関である、千葉工業大学に郵送します。

### 6. 研究組織

#### 研究代表機関

静岡県立こころの医療センター	研究代表者 (研究責任者)	戸田 重誠	計画立案、 データの収集 データ解析、統括、 発表
	研究分担者	松原 弘泰	データの収集

#### 共同研究機関

千葉工業大学	研究責任者	信川 創	データ解析
金沢大学	研究責任者	高橋 哲也	データ解析
慶應義塾大学	研究責任者	北 洋輔	プロトコル作成
信州大学	研究責任者	高橋 知音	プロトコル作成

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 静岡県立こころの医療センター医療部 氏名：戸田 重誠

住所： 〒420-0949 静岡県静岡市葵区与一4丁目1-1

電話番号：054-271-1135 (代表)